

○ 今後10年間の取り組みに向けたスローガン

委員名	スローガン	説 明
神戸市 県民委員 岸本氏	「地域によりそう、地域に見える防災、減災」	高齢化が進む地域で昔から伝えられている防災についての意見を反映し、地域に見合った避難の方法、防災、減災について研鑽していく努力を見える化する。
西脇市 県民委員 大城戸氏	「環境と減災 持続可能なミライへ」	「環境の保全と防災力の向上」を総合治水の大義とし、自然も人も持続可能なミライに向け、挑戦し続ける姿勢を示す。
三木市 県民委員 稲葉氏	「水環境を理解し、災害に備える」	池や河川の現状を理解し、自分が置かれている地域の状況から、災害を予測する。
小野市 県民委員 藤野正人	「地域の団結と絆、災害防止へ」	地域住民の団結力を高め、絆作りに努め、災害防止の重要性、意識を向上させていく。
多可町 県民委員 木原氏	「加古川の治水なら加東土木に相談だ！」	「地域の力」だの「地域の絆」だの、災害対策にまで「自助」や「共助」を強調して地方自治体の責務を放棄しようとする最近の風潮を反省し、誰が加古川流域というこの地域において治水・防災のリーダーであり責任者であるかを明確にする。それと同時に、行政機関だけでは治水事業も防災対策も不十分であり、市町職員および地域住民の主体的な参画が必要であることを示唆し、リーダー・責任者とともに智恵と力を合せて治水・防災に取り組むべく、具体的に行動を起そうと呼びかける。 ・具体性 … 加古川、加東土木、相談 ・住民の主体的な参画 … 「加東土木にまかせろ」ではなく「加東土木に相談」
稲美町 県民委員 本岡氏	「みんなで力あわせて 水害に強い地域づくり」	一人では無理でも、地域一体となって水害のない地域づくりを
	「上流、下流、みんなで水害のない地域を」	川のある地域だけでなく、地域全体で水に取り組む
播磨町 県民委員 中島氏	「高めよう防災意識、住み続ける町を目指して」	災害を最小限に抑えるには、住民の皆さんが防災意識を高めることであり、1日も早く復興し住民の皆さんが住み続ける町にしようとすることです。
姫路河川 国道事務所	「地域のあらゆる力で災害に立ち向かう」	流域にある田んぼやため池なども踏まえて治水に使えるものは全て使うという観点から「あらゆる」をいれています。
宝塚土木	「みんなでつくる安全な加古川流域の未来」	できるだけスローガンとしてはシンプルに、加古川の文字を入れたほうが良いと思う。
	「みんなが安心できる加古川流域に向けて」	
	「ちいさなことからコツコツと！」	
事務局 参考例	「地域の力で災害に立ち向かう」	地域住民の協力を強調し、少子高齢化や自主防災組織の人員の不足といった課題に対して、地域全体で取り組む姿勢を示す。
	「ともに学び、ともに取り組む」	災害経験が少ないことを踏まえ、県民が共に学びながら治水対策を進める重要性を訴える。
	「地域の絆で災害に備える」	地域の協力和絆を強調し、災害に備えるための取り組みを促進する。